

2023年2月期 第3四半期決算補足資料

JNSホールディングス株式会社
2023年1月13日



JINS | : 2023年2月期第3四半期 決算概要

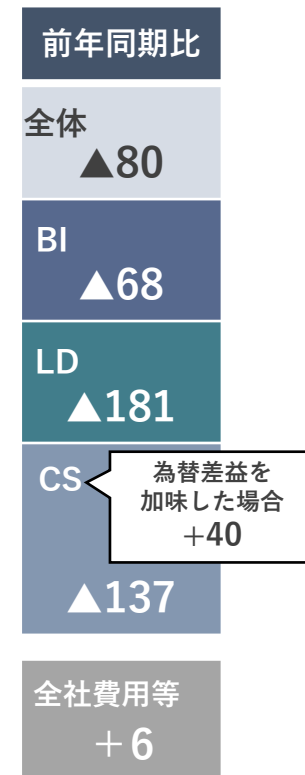
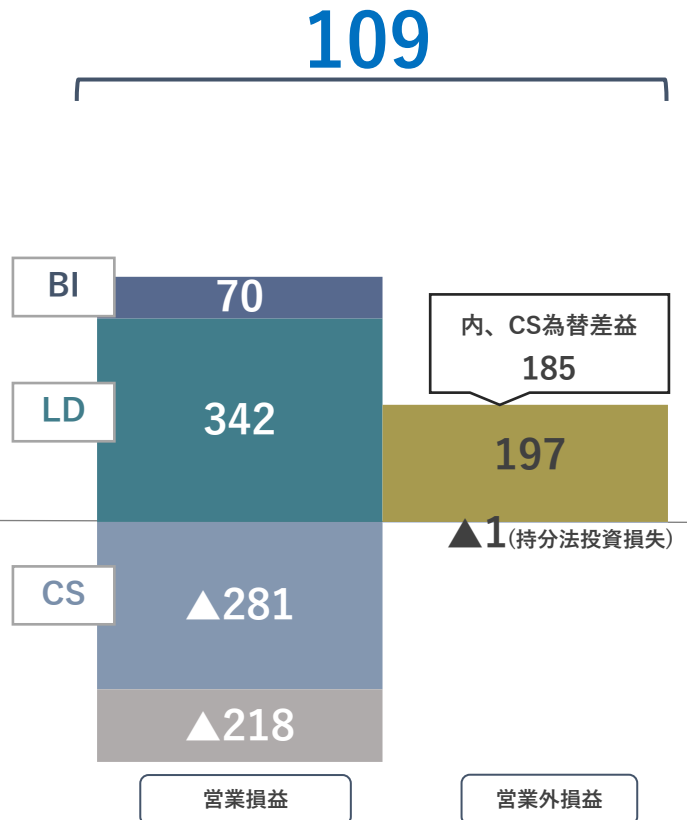
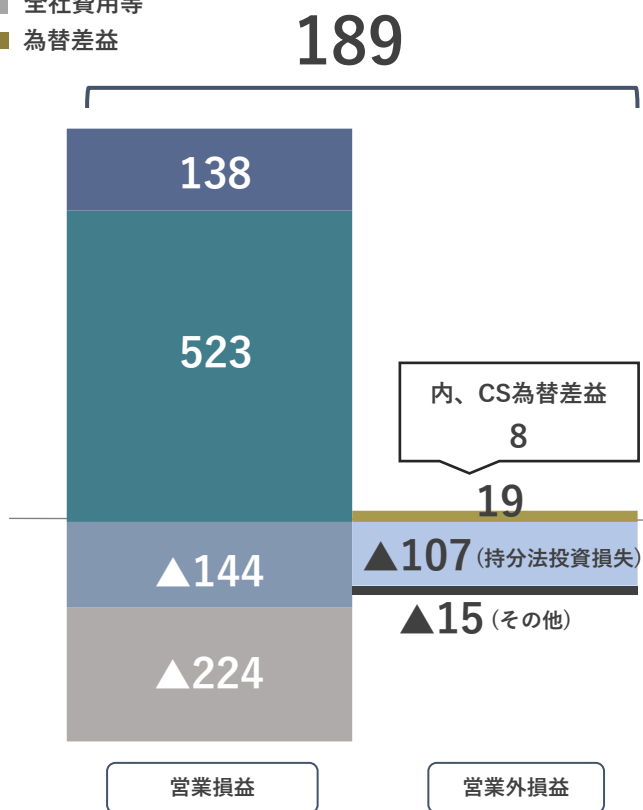
- ◆前年比では、昨年度約30万本のヒットとなったNintendo Switch新タイトルの発売があったため減収減益となるも、22/10月に上方修正した計画に沿って経常利益で109百万円を確保
- ◆為替予約オペレーションにより大幅な為替差益を計上、この分が営業外収益に計上されたため営業損益としては損失を計上
- ◆純利益は、昨年度株式譲渡による特別利益の発生があったことから減益

単位：百万円	2021.3Q累計	2022.3Q累計	前年同期比	
			百万円	%
売上高	6,736	5,786	▲950	▲14%
総利益 (%)	2,506 (37%)	2,099 (36%)	▲407 (▲1%)	▲16%
販管費 (%)	2,214 (33%)	2,186 (38%)	▲28 (+5%)	▲1%
営業利益 (%)	292 (4%)	▲86 (-)	▲378 (-)	-
(為替差益)	(19)	(197)	(+178)	約10倍
経常利益 (%)	189 (3%)	109 (2%)	▲80 (▲1%)	▲42%
(特別損益)	(616)	-	▲616	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 (%)	625 (9%)	43 (1%)	▲582 (▲8%)	▲93%

- ◆全体としては計画通り進捗、109百万の経常黒字を確保
- ◆ライフデザイン事業はSwitch海外展開等により高利益水準を維持
- ◆為替差益を加味したコネクテッドソリューション事業の実質損益は改善

- ビジネスイノベーション事業(BI)
- ライフデザイン事業(LD)
- コネクテッドソリューション事業(CS)
- 全社費用等
- 為替差益

単位：百万円



2021.3Q累計

2022.3Q累計

為替差益
内訳

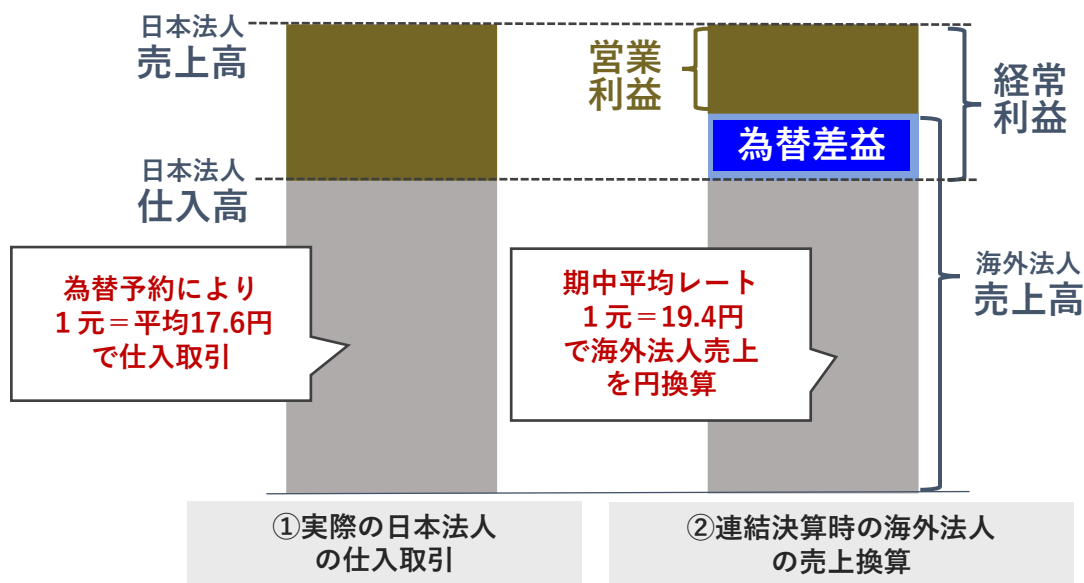
■日本および海外法人が保有する外貨の評価替え

■「為替予約により確定した日本法人の仕入高」と
「期中平均レートにより円換算した海外法人の売上高」との差

- ①日本法人の仕入高：日々の仕入取引ごとの為替予約により、円建て仕入高が都度確定
- ②海外法人の売上高：四半期決算時に期中平均レートにより、海外子会社の円建て売上高が確定

3Q期間取引

為替予約レートより円安元高となり為替差益が発生



- ①日本/深圳の実際の取引は、案件毎に為替予約を行い、円建て仕入額を確定
<3Q概算：1元 = 17.6円で予約取引>
- ②連結決算時に期中平均レートで海外法人売上高を円換算
<3Q概算：1元 = 19.4円で換算>

上記①②の元レートの差1.8円が
3Q期間為替差益 約90百万円として発生

経常利益増減要因 (対前年同期比)

単位：百万円

2021.3Q累計
経常利益

189

▲500

Switchアジア展開、
その他X-Tech事業
による増益

+319

BX事業の増収が受託事業の
総利益減をカバーしたこと
による総利益の増

+8

BX事業の宣伝販促
強化等に伴う
販管費増

▲76

▲68
(総利益)

+177
(為替差益)

為替予約対応を含めた原価率改善
による実質的な総利益の増加

持分法投資損失
の解消

▲69

+106

aiwaデジタル立上げ等
に伴う販管費増

全社費用減、その他
営業外損益の改善

+23

2022.3Q累計
経常利益

109

昨年度のNintendo Switch
国内新作投入効果の消失

LD
セグメント利益
(▲181)

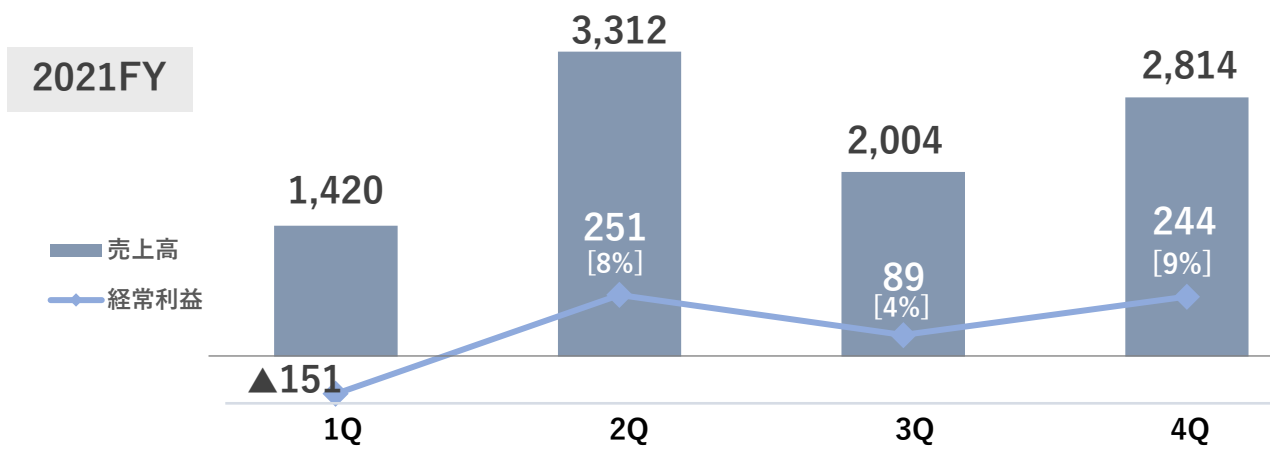
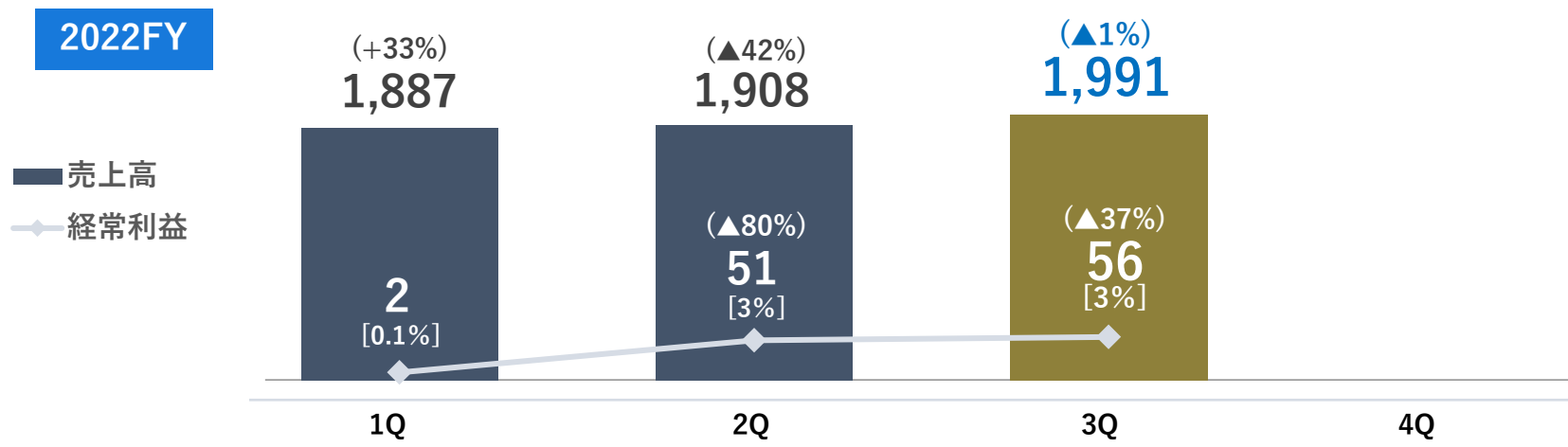
BI
セグメント利益
(▲68)

CS
実質セグメント利益
(セグメント利益+為替差益)
(+40)

その他
(+129)

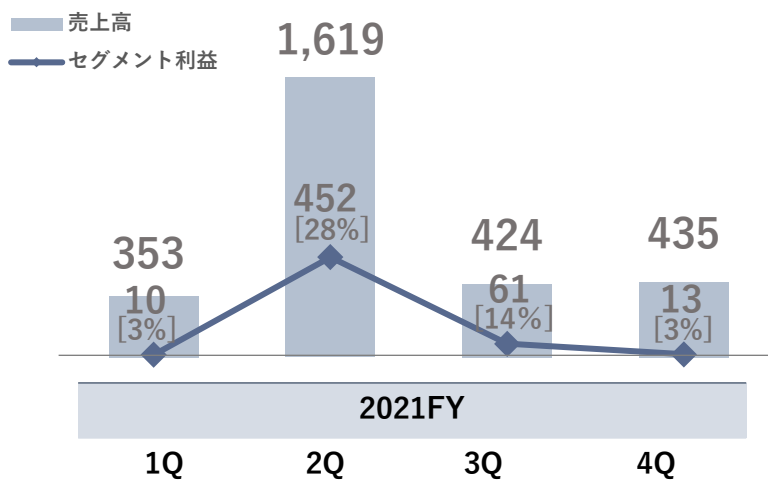
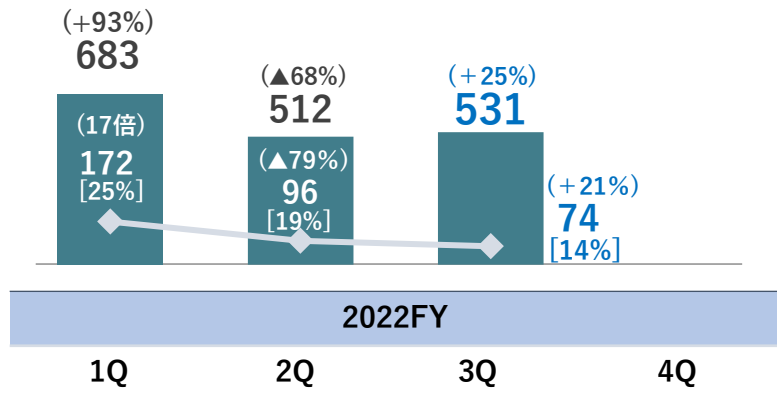
今年度は前四半期対比で増収増益基調を継続

単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は利益率 マイナスの場合は省略



単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は利益率 マイナスの場合は省略

■ 売上高
◆ セグメント利益

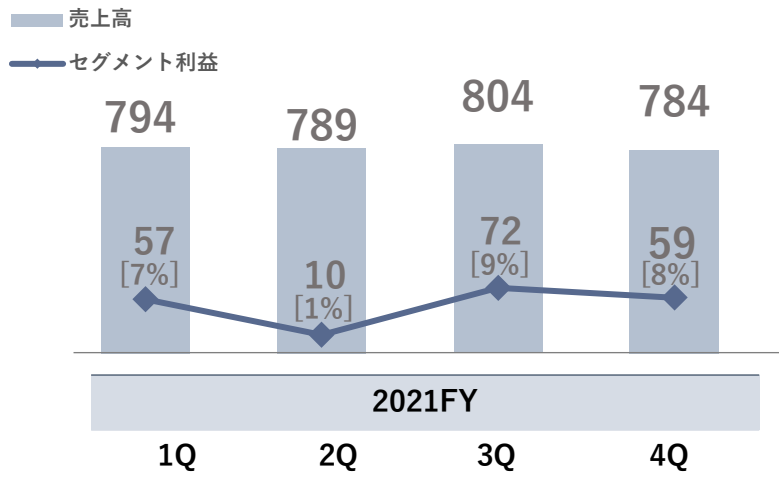
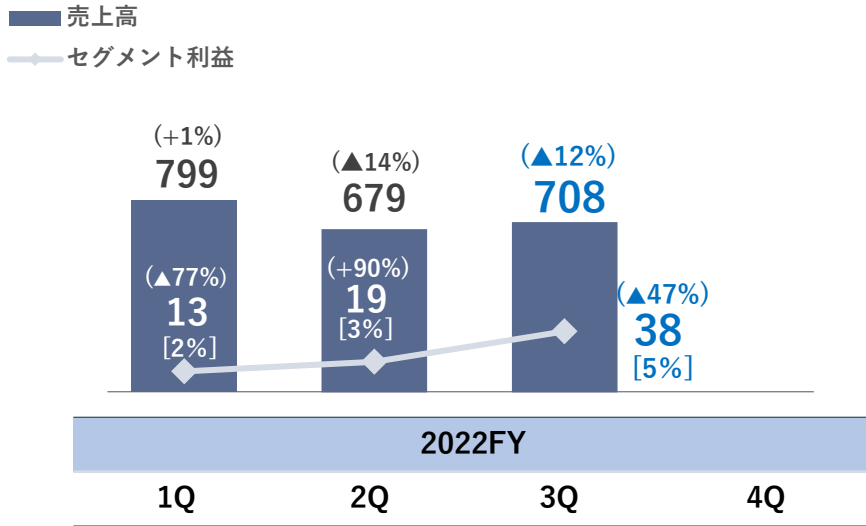


2022FY 3Qサマリー

コンソール事業の欧米展開開始に加え
HealthTech事業の好調により
前年同期比で増収増益

- ◆ Nintendo Switch「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」のアジア版に続き、欧米版およびPC版、PlayStation版の発売によるグローバル展開を継続
- ◆ 健康志向の高まりやDX機運を背景に、ヘルスケア分野や教育分野のコンテンツプロデュース事業も好調に推移

単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は利益率 マイナスの場合は省略



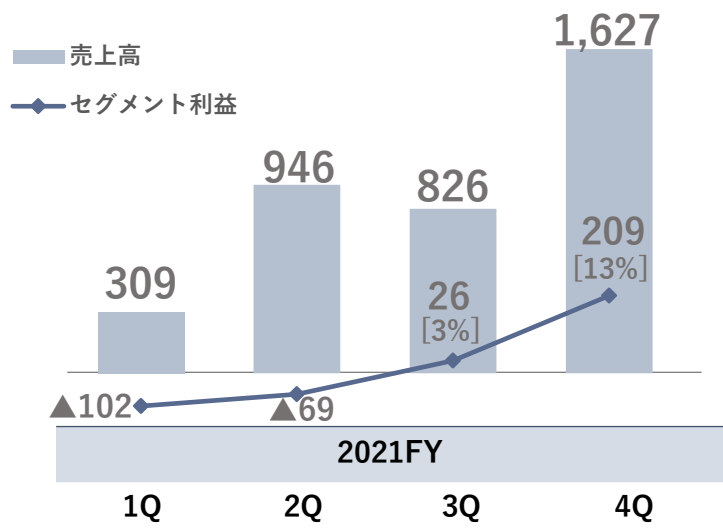
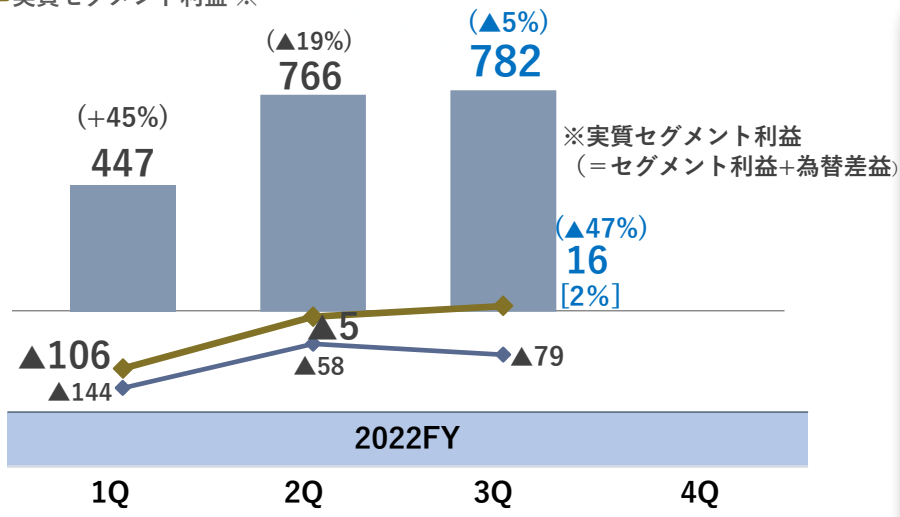
2022FY 3Qサマリー

システムインテグレーション (SI) 事業は
低収益案件の縮小、大型案件一服により減収
自社事業は販売投資による拡大基調継続

- ◆ SI事業は企業のDX案件が堅調に推移した一方で、低収益案件の縮小等により前年度水準には及ばず減収減益
- ◆ 自社事業のBXサービスにおいては積極的なプロモーション展開を継続、顧客企業拡大による増収で2桁成長を継続

単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は利益率 マイナスの場合は省略

■ 売上高
◆ セグメント利益
◆ 実質セグメント利益 ※



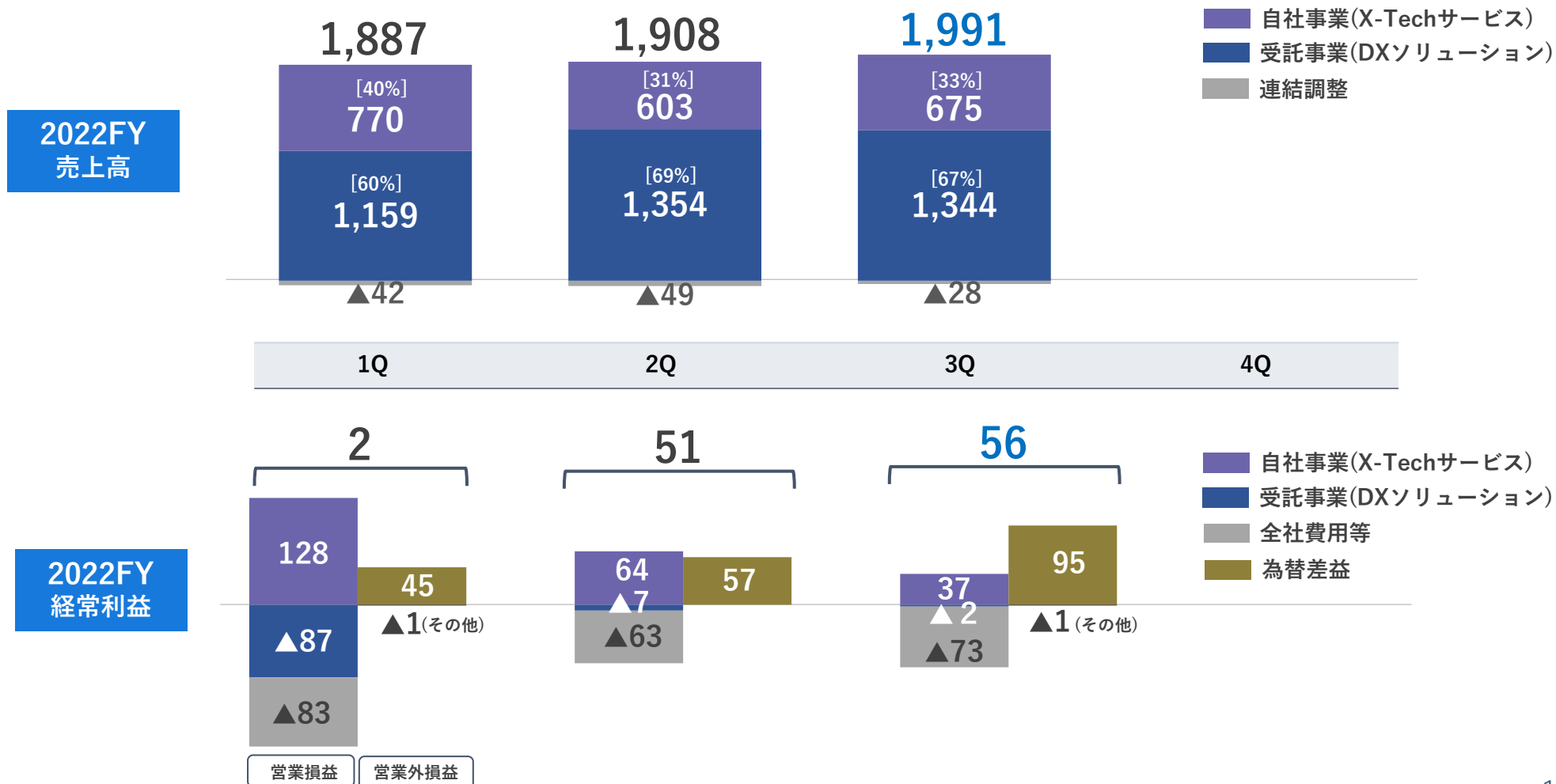
前四半期比で増収を継続 実質セグメント利益は黒字転換

- ◆ IoTサービス需要の安定推移により受注は堅調に推移、ゼロコロナ政策の影響は受けつつも生産の安定稼働を継続。為替予約により為替変動リスクをヘッジし、利益確保を実現。4Qにかけての需要拡大に対応すべく生産体制を増強中。
- ◆ 上期に立ち上げた新規自社事業「aiwaデジタル」ブランド製品の販売を開始、知名度向上に向け量販店導入等チャネル開拓を推進

2022FY 3Q動向

- ◆売上高は自社事業の好調により前四半期比で増収継続
- ◆経常利益は為替差益を含む受託事業の収益化に伴い増加

単位：百万円 []内は構成比



- ◆ 配当及び自社株取得、納税、借入金返済、開発投資等による現預金の減少
- ◆ 自己株式取得等による株主資本の減少
- ◆ 総資産の減少に伴い、自己資本比率は約7%上昇

	前年度末(22/2)	当期末(22/11)	増減		前年度末(22/2)	当期末(22/11)	増減
流動資産	7,185	5,961	▲1,224	流動負債	1,952	1,348	▲604
現金及び預金	4,982	3,354	▲1,628	契約負債	100	127	+27
受取手形、売掛金及び 契約資産	1,134	907	▲227	短期借入金・1年内 返済予定の長期借入金	503	396	▲107
前渡金	291	469	+178	その他	1,349	825	▲524
その他	778	1,231	+453	固定負債	1,240	939	▲301
固定資産	1,600	1,765	+165	負債合計	3,193	2,287	▲906
有形固定資産	245	226	▲19	株主資本	5,427	5,179	▲248
無形固定資産	267	434	+167	その他の包括利益累計額	127	213	+86
投資その他の資産	1,087	1,104	+17	新株予約権	37	46	+9
資産合計	8,786	7,726	▲1,060	純資産合計	5,593	5,439	▲154
				負債・純資産合計	8,786	7,726	▲1,060
				自己資本比率	63.2%	69.8%	+6.6%

単位：百万円

JINS II : 2023年2月期 業績見通し

前回予想を踏襲、ただし為替変動の影響により営業利益予想を修正

- ◆ 前回予想では下期の為替差損益を0と置き、年間営業利益予想を算定
- ◆ 第3四半期実績及び第4四半期の為替予約状況及び在外子会社連結時に適用される期中平均レートの見込み等を踏まえ、営業外損益及び営業利益予想を見直し

単位：百万円	期首予想	前回予想 (2022.10)	修正後	前回予想比	
売上高	9,600	9,600	9,600	—	—
営業利益	260	210	10	▲200	▲95%
営業外損益	▲10	90	290	+200	約3.2倍
経常利益	250	300	300	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	180	200	200	—	—
配当	5円	5円	5円	—	—
ROE※	3.3%	3.6%	3.6%		—

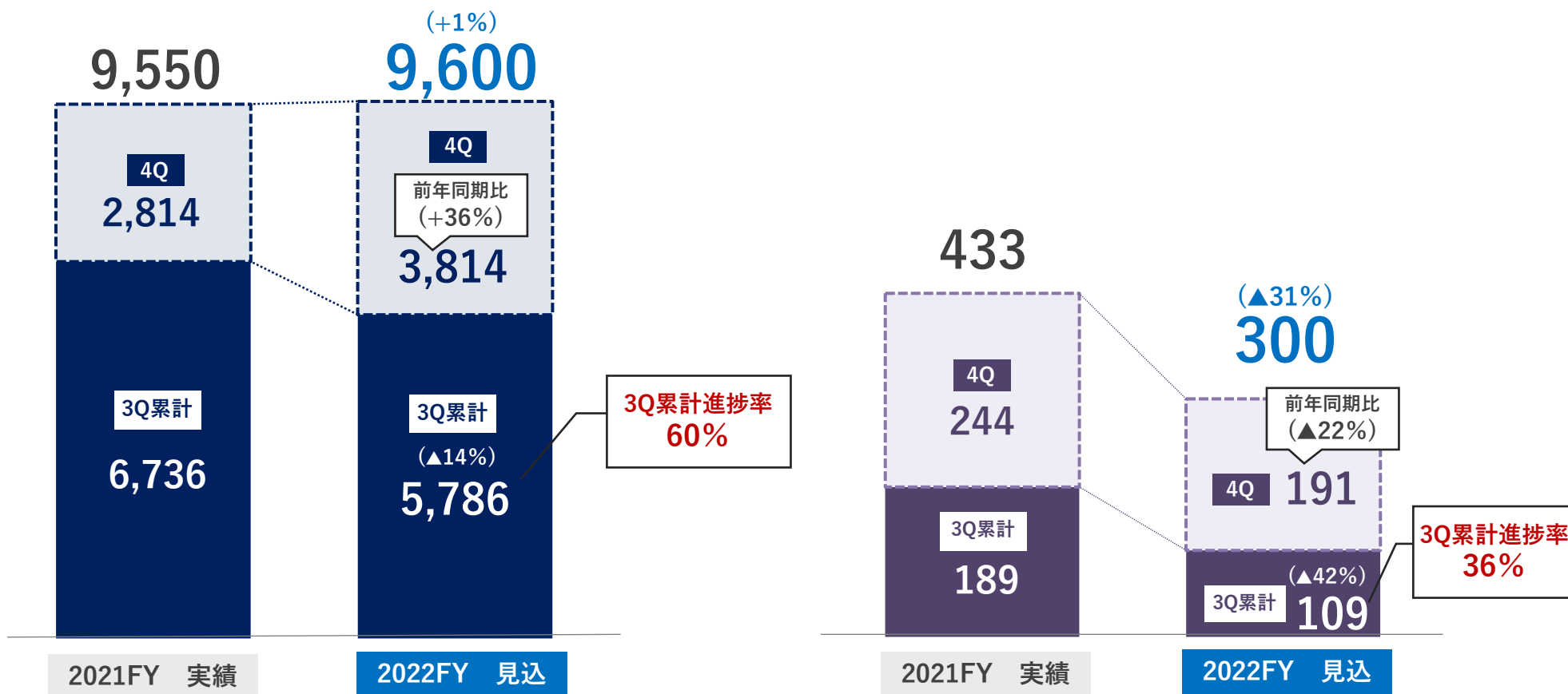
3Q累計進捗率は売上高60%、経常利益36%
 4QはCS事業を中心とした大幅な売上高及び利益拡大を見込む

単位：百万円 ()内は前年同期比

売上高

※外部売上のみ

経常利益



主要動向

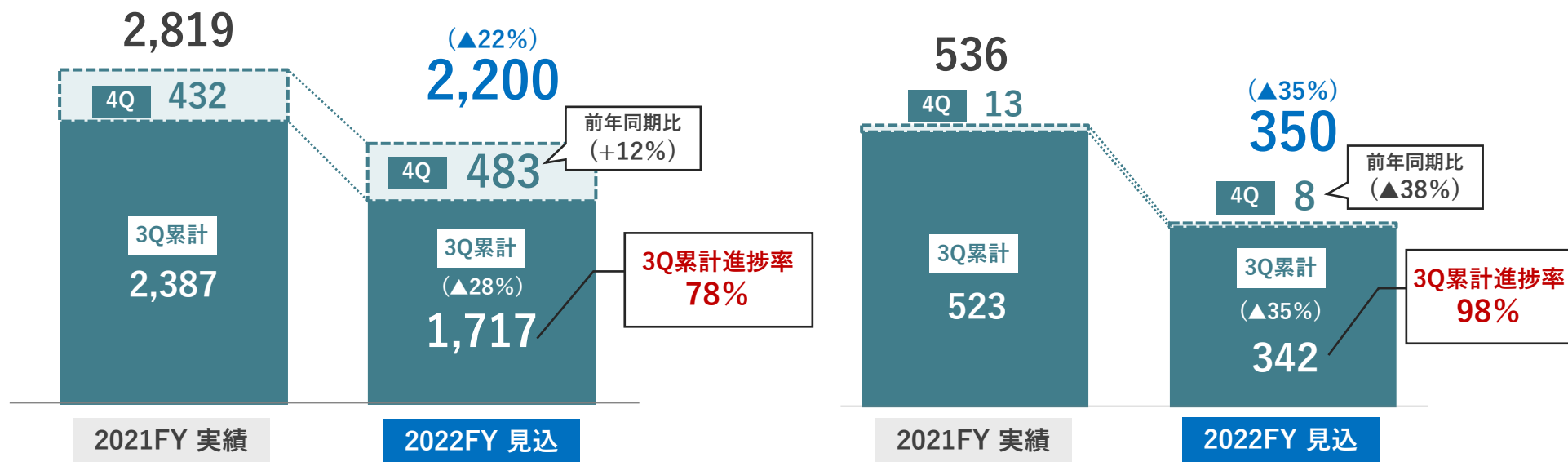
- コンソール事業におけるグローバル展開継続と新作発売へ向けた取組み推進
- 各Techサービス(Ed/Health/Fin)の事業拡大策継続

単位：百万円 ()内は前年同期比

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益



主要動向

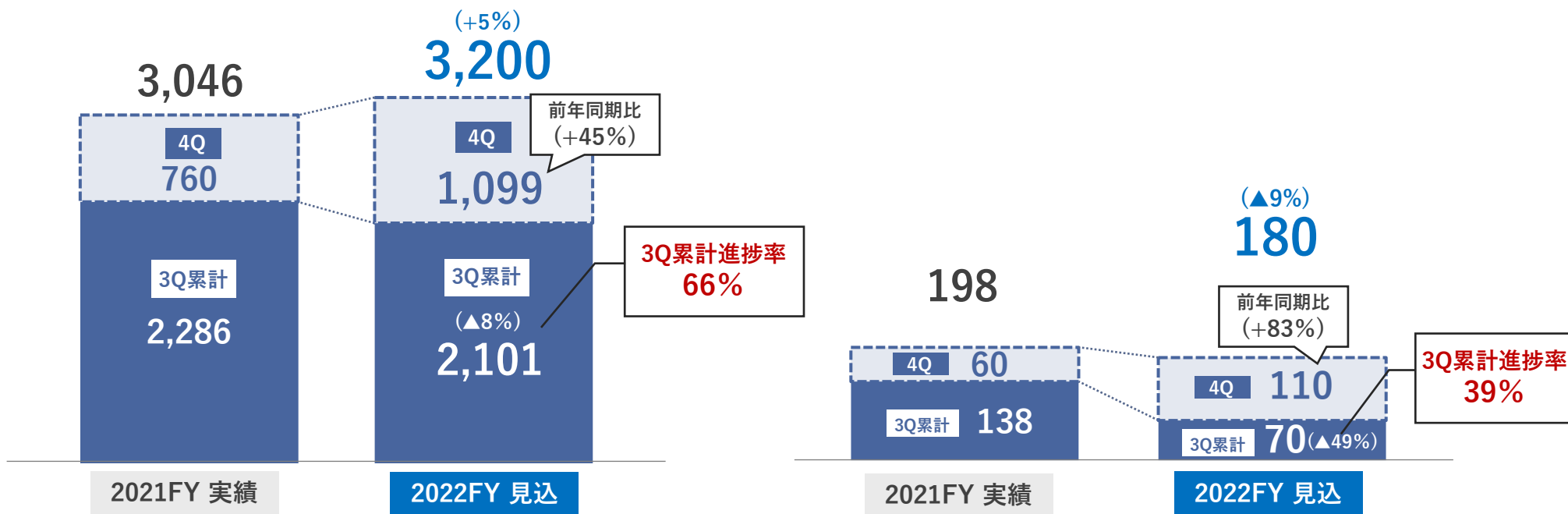
- 自社事業であるBXサービスの更なる拡大
- コロナ禍回復及びDX需要取り込みによるSI事業の収益性向上

単位：百万円 ()内は前年同期比

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益



主要動向

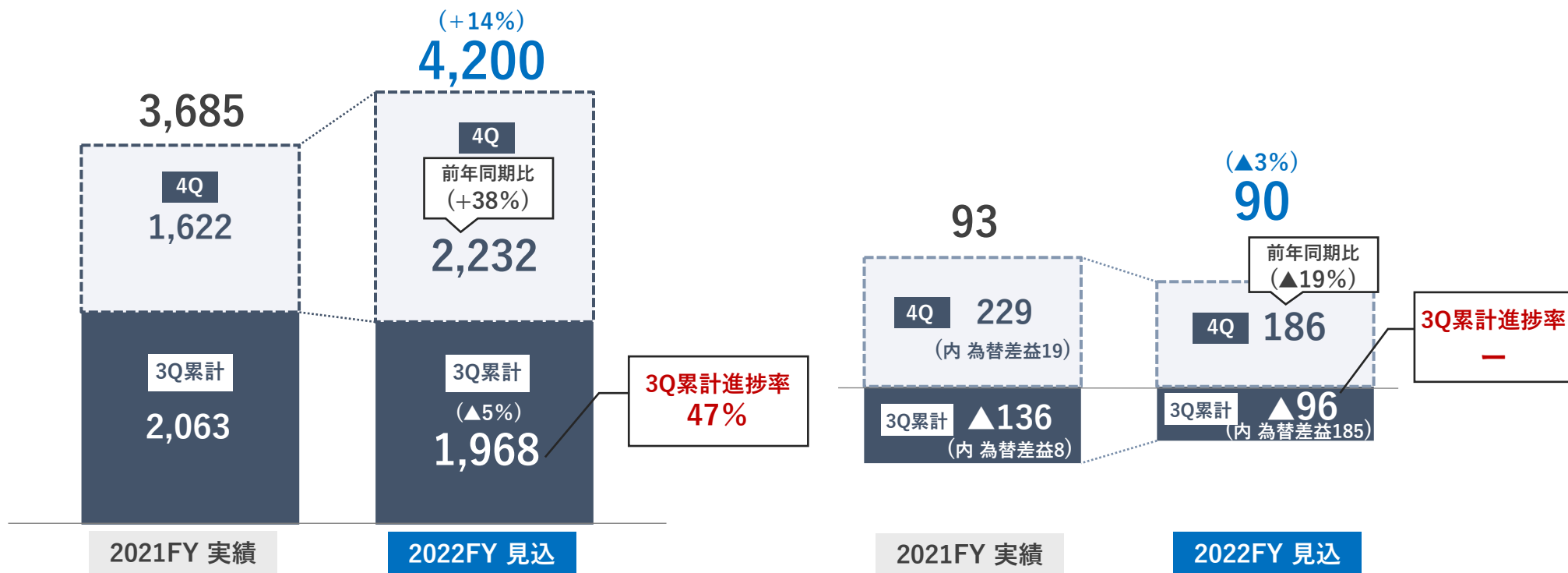
- 最繁忙期である4Qに向けた生産体制の増強と安定稼働の継続
- IoTサービス需要及びインバウンド需要活性化を見据えた事業体制の整備と来年度のaiwaデジタル事業本格化に向けた取組み推進

単位：百万円 ()内は前年同期比

売上高

※外部売上のみ

実質セグメント利益



JNS

Appendix

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2022年8月末現在)	483名 (国内267名・海外216名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更 2022年4月 東証再編に伴いプライム市場へ移行
資本金 (2022年11月末現在)	2,396,041千円 発行済株式数 12,208,200株
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精工(東莞)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月

経営理念

～“Technology”と“Creativity”で新しい未来を創る～

ライフデザイン事業 (LD)

知育・教育、健康、マネー、エンターテインメント等におけるデジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスの提供



DX Technologyをベースに
3つの事業にフォーカス

コネクテッド ソリューション事業 (CS)

深圳のサプライチェーンを活用したコネクテッドデバイスの企画/開発/製造とデバイス・クラウド・ネットワーク一体型ソリューションの提供

ビジネスイノベーション事業(BI)

ソフトウェア開発、システムインテグレーション、AI、クラウド技術等を活用したビジネスイノベーションを実現するソリューション&サービスの提供

ハードウェア・ソフトウェア・コンテンツを網羅する
JNSグループならではのDX Technologyを活かして事業を展開

CharaTech

キャラクターコンテンツ

EdTech

キッズアプリ 教育コンテンツ

法人向けICT製品

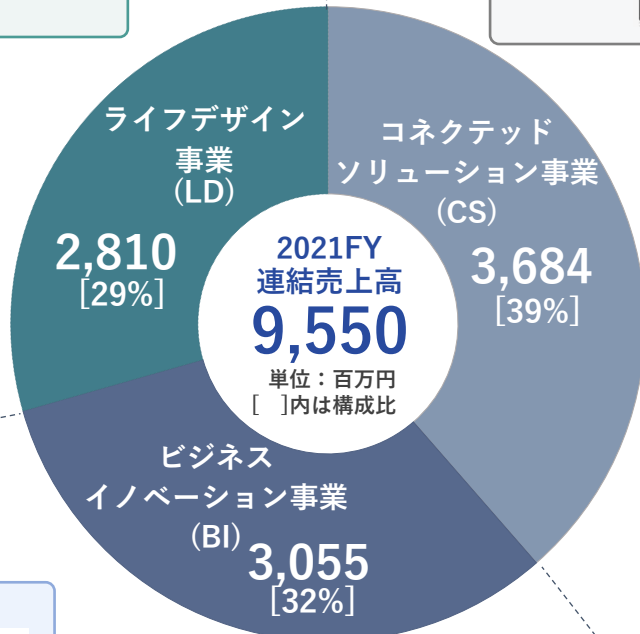
HealthTech

歩数計アプリ
RenoBody

ヘルスケアサービス

FinTech

プリペイド決済サービス



各種IoTデバイス

GPS・見守り スマートロック製品
スマートディスプレイ

etc...

大手法人向けソリューション案件

空運 保険 メディカル

aws partner network
salesforce registered consulting partner
cybozu Official Partner Consulting

BXサービス

即戦力AIチャットボット
OfficeBot
SMARTアドレス帳

「POCKETALK」シリーズ

etc...

etc...

JNSホールディングス

グループ経営管理・新規事業開発



コネクテッドソリューション事業 (CS)

JENESIS

創世訊聯科技
(深圳)有限公司

創紀精密科技
(深圳)有限公司

ICTおよびIoT製品等の開発、販売
製造受託、カスタマーサポート

ビジネスイノベーション事業 (BI)

solution company



情報通信サービスおよび
ソフトウェア、コンテンツ開発

ライフデザイン事業 (LD)

content service
company



FinTech PJ



情報通信サービスおよび
ソフトウェア、コンテンツ開発



オフショア開発

開発技術本部

クラウドデザイン部



国内開発



コンテンツ制作

発行済み株式総数 12,144,500株

(+4,100)

株主数 7,346名

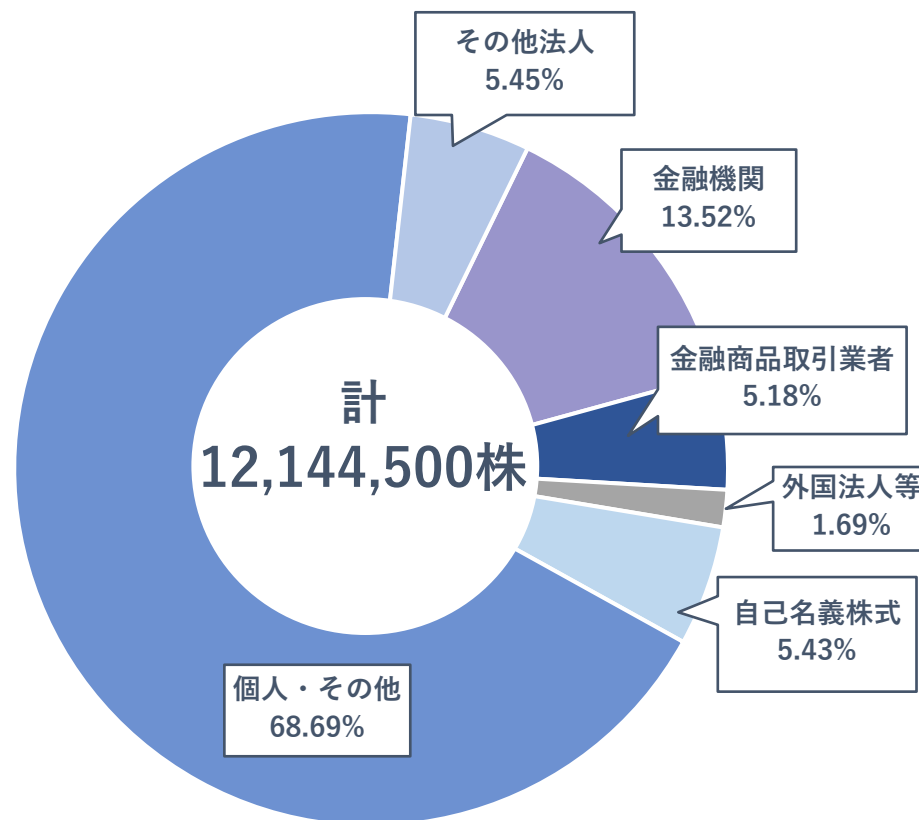
(▲143)

※()内は対前年度末

大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	16.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	833,100	7.25
太陽生命保険株式会社	570,000	4.96
シャープ株式会社	360,000	3.13
楽天証券株式会社	264,500	2.30
藤岡 淳一	239,400	2.08
井川等	219,700	1.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	177,000	1.54
マケナフィールドズ株式会社	131,600	1.14
川村英夫	128,300	1.11

株式所有者別分布



Designing unimaginable future with X-Tech and Creativity

～TechnologyとCreativityにより新しい未来を創る～



JNSグループがもつイノベーティブなテクノロジーとクリエイティビティで
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を
タイムリーにお届け致します

<https://www.jns.inc/ir/>